

令和2年6月19日

文化審議会の答申（史跡等の指定等）について

文化審議会（会長 ^{さとう まこと} 佐藤 信）は、6月19日（金）に開催された同審議会文化財分科会の審議・議決を経て、追加指定等7件について、文部科学大臣に答申しました。今回答申された史跡等の指定等の詳細については、別紙のとおりです。

（※なお、今回は新型コロナウイルス感染症の影響により、通常の会議開催が困難であったことから、新指定の諮問は延期し、追加指定のうち緊急性の高いもののみ諮問しました。）

【追加指定について】

史跡として指定されている土地に、新たに条件の整った範囲を追加で指定するもの。史跡の価値付けに変更はなく、指定地面積が拡張する。

<担当> 文化庁文化財第二課

課 長	岡 本
課 長 補 佐	田 井
主任文化財調査官（史跡部門）	山 下（内線2880）
主任文化財調査官（名勝部門）	平 澤（内線2881）
文化財調査官（天然記念物部門）	江 戸（内線2883）
主任文化財調査官（文化的景観部門）	下 間（内線3142）
主任文化財調査官（埋蔵文化財部門）	近 江（内線2875）
審議会係長	川 口（内線3160）

電話：03-5253-4111（代表）

今回は追加指定のみのため、指定件数に変更はありません

別紙

史跡名勝天然記念物

(令和2年 6月19日現在)

種 別	現在指定件数	今回答申件数			合計（現在指定件数と 答申件数との合計）
		新指定	解除	統合に よる減	
史 跡 (うち特別史跡)	1,847 (63)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1,847 (63)
名 勝 (うち特別名勝)	422 (36)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	422 (36)
天然記念物 (うち特別天然記念物)	1,031 (75)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1,031 (75)
合 計	3,300 (174)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	3,300 (174)

(備考)

件数は、同一の物件につき、二つの種別に重複して指定が行われている場合（例えば、名勝及び天然記念物など）、それぞれの種別につき1件として数えたものです。

なお、重複指定物件を1件として数えた場合、

現在指定件数は、 3,185件

答申後合計件数は、 3,185件 です。

登録記念物

種 別	現在登録件数	今回答申件数		合計（現在登録件数と 答申件数との合計）
		新登録	抹 消	
遺跡関係	12	0	0	12
名勝地関係	99	0	0	99
動物、植物及び 地質鉱物関係	6	0	0	6
合 計	117	0	0	117

（備考）

件数は、同一の物件につき、二つの種別に重複して登録が行われている場合（例えば、遺跡関係及び名勝地関係など）、それぞれの種別につき1件として数えたものです。

なお、重複登録物件を1件として数えた場合、

現在登録件数は、 115件

答申後合計件数は、 115件 です。

重要文化的景観

種 別	現在選定件数	今回答申件数		合計（現在選定件数と 答申件数との合計）
		新選定	解 除	
重要文化的景観	65	0	0	65

史跡等の指定等

《特別史跡の追加指定》 1件

1 齋尾麿寺跡【鳥取県東伯郡琴浦町】

山陰地方で白鳳時代の法隆寺式伽藍配置をもつ唯一の寺院跡。大山山麓の台地上に位置する。中門，金堂，塔，講堂などの基壇が残り，特に塔の基壇は高さ1.1mを誇る。南北250m，東西160mの寺院地の条件の整った部分を追加指定する。

《史跡の追加指定》 6件

1 仙台郡山官衙遺跡群【宮城県仙台市】

郡山官衙遺跡 郡山麿寺跡

律令国家が東北経営のため設けた城柵跡。7世紀中頃のⅠ期官衙と，Ⅰ期官衙を取り壊して，建物等の向きを真北方向に建て替えた7世紀末頃のⅡ期官衙（陸奥国府）及び郡山麿寺跡からなる。今回，官衙遺跡の一角を追加する。

2 金田官衙遺跡【茨城県つくば市】

筑波山の南15kmの台地縁辺部に位置する，8世紀前半から9世紀中頃の常陸国河内郡家跡。正倉院，郡庁，仏教関係施設等からなる。古代の地方行政組織や地方支配体制を考える上でも貴重な遺跡。条件の整った部分を追加指定する。

3 真福寺貝塚【埼玉県さいたま市】

北西部の低湿地に向けて開口部を有する東西160m，南北180mの馬蹄形の盛土遺構を持つ，縄文時代後晩期の集落遺跡であり，北東部には地点貝塚が分布する。今回，条件の整った部分を追加指定する。

4 下之郷遺跡【滋賀県守山市】

琵琶湖東部に位置する弥生時代中期の環濠集落。9重の環濠によって集落が囲まれ，集落の入口や中枢部と推定される方形区画が確認されている。環濠から木器や自然遺物が大量に出土しており，当時の集落構造や社会，人々の生活を考える上で重要。

5 わかやまじょう わかやまけんわかやまし 和歌山城【和歌山県和歌山市】

紀の川河口部に位置する、紀伊徳川家の居城となった平山城の近世城郭。虎伏山とらふすやまに天守を設け、その東に本丸があり、これらの廻りに二の丸、西の丸、砂の丸、南の丸を配置し、高い石垣と内堀で画する。砂の丸の南に位置する扇の芝の一角を追加指定する。

6 たしろおおたこふん さがけんとすし 田代太田古墳【佐賀県鳥栖市】

大木川と山下川が形成した高位段丘の縁辺部に、6世紀後半に造られた径42m以上の円墳。横穴式石室内には赤・黒・緑の3色の顔料と岩肌の黄色を用いて騎馬人物や船に乗った人物、様々な幾何学文様きかがくなどが描かれており、装飾をもつ首長墓として重要。